

フクシマ現地と全国から1510人が大結集！（福島市・街なか広場）



福島大の1年生が全国の仲間に訴え

今日は現地の学生からの発言ということで発言をさせていただきます。

私は出身が新潟です。数年前に新潟県中越沖地震がありました。そのときにも柏崎刈羽原発は地震による被害を受け、すべての原子炉が活動停止したんです。火災も起こり、3号機と4号機は地震の前もずっと停止していました。地震で原発が止まるという事態が数年前に起こっているにもかかわらず、今回の震災で福島第1原発は大変な事故を引き起こしました。本当に政府が放射能・原子炉の危険性を本気で考えていたとしたら、このような事態はまず起こらなかったと思います。

今、政府は放射能の1年間に浴びる被曝量、その基準値を引き上げています。それもおかしいことです。毒ガスがまき散らされた時、毒ガスを浴びていいという量を上げる人はまずいません。内部被曝による人体への影響、因果関係もはっきりしていないなら、もっと予防線を張るべきだと思うのです。政府、メディアも大学の教授などもウソばかり。今の世界、デタラメです。

新潟では新たな原発を作ろうという計画もありましたが、住民投票を行い反対派が圧倒的多数で勝利しました。町長は退職させられ、計画は中止になりました。私たちが発言すれば変わります。原発はなくせるはず。この現地からみんなで立ち上がっていきましょう。



全学連

全日本学生自治会総連合（織田陽介委員長）

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp

<http://www.zengakuren.jp/>



清野和彦さん (元福島県教職員組合委員長)

実はみなさんがおいでの場所は今日12時の計測によりますと1.29ミシーベルトです。「放射線管理区域」という定めがありまして、3ヶ月間に1.3ミシーベルトを超えるおそれのあるところについては許可なき立ち入りをしてはならないんですが、福島はそういう状況なんです。

一体誰がこの事態に対して責任をとるのか。福島第一原発を運営してきた東京電力はもちろんですが、もっと大きな問題は、国の政策として原発を全国に造ってきたことです。電力と政府の責任は、どこまでも追及していかなければならない。「想定外」という言葉は絶対に許せません。子どもたちの未来を守らなければなりません。ぜひ全国で力を出し切っていただきたいと思います。

この状況の中で最も力を出し切ってほしいのは、労働運動です。またそれに続く学生の若いみなさんです。ぜひ今後とも力を出し切っていただきたいと思いますし、私はまず一番始めに福島県から原子力発電所をなくしたい。なくすために力を尽くしたいと思います。そしてそれが全国、または全世界に向けての出発点になることを願っています。

鈴木光一郎さん (酪農家、ネットワーク「ゆい」福島)

今福島は、原子力災害の真っ只中にあります。3月11日以降、私たち福島県民は、本当につらいつらい無念の毎日でございます。

私たちは本当に原発の恐怖というものを、身をもって体験しています。私も1ヶ月半、牛乳を牧草地に捨てました。まったく無念でありました。そして今なお飯舘村の方々は、全財産の牛を売り払って避難しなきゃならない。無念の極みです。これもあれも原発のせいです。われわれの仲間は、まさに一週間前に原発を怨みつつ旅立ってしまいました。悔しいです！

しかし、私たち農民は決して負けません。風評被害で本当に低価格の農産物を売ろうとも、どんなに困難に直面しようとも、必ずや復興に向かって歩みを開始します。その援助をよろしくお願いします。そして何よりも、労働者の力と農民の力と、すべての人々の支援によって、必ずこの福島の復興に向かってがんばっていきたいと思います。どうかみなさん、よろしくお願いします。



角田政志さん (福島県教職員組合書記長)



東電の原発が事故を起こして以来、教育現場は非常に大きな困難と危機的な状況が現在も続いています。

教職員も被災者です。しかし、県教委の不当な勤務配置命令によって家族がバラバラになったり遠距離通勤を余儀なくされたり、めっちゃめっちゃになっています。何とか元に戻せと交渉を続けています。

また私たちは、避難できない子どもに不要な放射能を浴びさせないために一生懸命発信をしてきました。文科省が4月19日、年間20ミシーベルトの暫定基準を出した時、非常に危険性を感じました。この基準を下回ればもう安全だという意識が何より怖かった。

しかし、子どもたちを放射線から守ろうという声がたくさんあがりました。校庭の土を削ったり、教室にエアコンや扇風機を入れたり、さまざまなことが今できてきています。しかし、国は削った土さえ学校の中に残したままです。通学路の除染など考えられるあらゆることを早急にやってくれと要求しています。これだけ大変な事故を起こした東電・国は当然やるべきです。多くの人と連携しながら取り組みを進めていきます。

フクシマの次は、8月6日ヒロシマだ！

▼すべての原発・核をなくせ！ 7/8東北大集会

日時 7月8日(金) 正午～集会開始

場所 東北大学・川内北キャンパスにて

▼7・10反戦反核東京集会

日時 7月10日(日) 18時開場、18時半開会

場所 なかのゼロ・小ホール

▼被爆66周年 8・6ヒロシマ大行動

ヒロシマ・ナガサキ・フクシマをくりかえすな！

すべての核と原発をなくせ！ 戦争をとめよう！

※首相の祈念式典出席弾劾デモ、全国学生集会もあります。

※アメリカから「反戦の母」シンディ・シーハンさん、来る！

※4日夜に東京を出発します。参加希望は表の連絡先まで！